

宮城県知事候補者選挙公報

宮城県選挙管理委員会

復興完遂 そして未来へ!!



村井よしひろ

新型コロナウイルス感染症対策

- 感染防止対策の強化と「オール宮城」の医療提供体制の確保
- 社会経済活動の維持・回復

復興完了に向けたきめ細かなサポート

- 生活再建の状況に応じた切れ目のない支援
- 福島第一原発事故被害への対応

富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

- 新しい大規模工業団地の整備
- 次世代放射光施設を中核とした企業等の研究部門の集積
- 「みやぎ観光振興会議」を活用した地域単位の観光施策の構築
- 県政150周年を契機とした様々な観光キャンペーンの開催
- 留学生の定着に向けた公的セクターが関与する日本語学校の開設
- 県立高等技術専門校の新設
- 仙台空港における国際航空貨物輸送便の誘致

社会全体で支える宮城の子ども・子育て

- (仮称)次世代育成・応援基金の設立
- 不妊治療に対する支援の拡充
- 県立高校の入学生全国募集モデルの検討・実施
- 全日制・定時制・通信制を融合させた新しいタイプの高校の開設

誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

- 新しい県民会館の整備(NPOプラザとの集約・複合化)
- 「県立がんセンター」を「仙台赤十字病院」と統合させ名取市に開院
- 「県立精神医療センター」を「東北労災病院」と合築させ富谷市に開院

強靱で自然と調和した県土づくり

- 水災・地震保険加入を促進するための補助制度の継続
- 広域防災拠点、8つの圏域防災拠点の整備とネットワーク化
- 人口減少による料金上昇を低く抑える上水・工業用水・下水の官民連携事業(みやぎ型管理運営方式)の推進

県政運営の基本方針

- ① 民の力を最大限生かす県政
- ② 衆知を集める県政
- ③ 最小のコストで最大の効果を上げる県政
- ④ 広域的視点に立つ県政

動画配信中

「いのちを守り、いのちをつなぐ」宮城へ



無所属
長 純一
じゅんいち
55歳

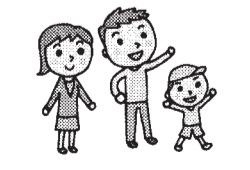
被災地で10年命に寄り添う医師

私の決意
私は、誰もが医療を受けられ命を尊重されるべきと考え、農村過疎地で19年、石巻被災地で9年余り、医師及び行政職として、住民の声を聴き、寄り添って来ました。村井県政は多選のおこりか、「コロナ対策で県民・医療関係者の声を無視すること」を繰り返して、今後の第6波以降の対応を任せるわけには行きません。4病院統合・保健所縮小など、県民の声を無視し、命を危険にさらす県政を変え、対話の県政を目指します。

そろそろ替えどき トップダウン県政から、対話の県政へ転換を!

- ① **新型コロナウイルス感染症対策を強化・徹底し、県民のいのちを守ります**
 ● 地域医療に携わる医師の知見を活かし、科学的裏付けに基づいた「コロナ対策」を行います。
 ● 迅速、安全、確実なワクチン接種を、希望者だれもが受けられるようにします。
 ● 「いつでも誰でも」何度でも「新型コロナPCR」等の検査体制を整えます。
 ● 十分な入院病床を確保し、医療・看護の整った宿泊療養施設を整備します。
 ● 看護師・介護士・保育士など「トータルワーカー」への支援を拡充し、待遇改善します。
 ● 経営が厳しくなっている医療機関、介護事業所などへの支援策を強化します。
- ② **コロナ禍で落ち込んだ、暮らし、生業、文化を支えます**
 ● 中小企業、小規模事業者への給付金に県が上乗せ給付する等、補償・支援を強化します。
 ● 個人事業主、フリーランス、文化・芸術関係者の仕事継続のための補償・支援を強化します。
 ● 子ども食堂、フードバンク等と協働し、生活困窮者、学生等を支える活動を支援します。
 ● 県営住宅の転用などによって、生活困窮者の住宅確保を支援する仕組みをつくり出します。
 ● 非正規労働者への給付金に県として上乗せ給付する等、支援策を強化します。
- ③ **「福祉立県」をめざし、地域医療・保健・福祉の拡充を進めます**
 ● コロナ感染症対策に逆行する、4病院の「再編統合・移転案」を白紙撤回します。
 ● 感染症対策の要である保健所体制の縮小・支所化を見直し、充実・強化をすすめます。
 ● 在宅医療日本へ、地域包括ケアを拡充し、誰もが最後まで住み慣れた地域で暮らせる仕組みをつくり出します。
 ● 地域医療を担う医師の育成に取り組み、地方の医師不足を解消します。
 ● 県の福祉専門職を正規職員として増員し、県内各地に配置します。
- ④ **子育てしやすく、子ども、女性にやさしい県政を推進します**
 ● 子育て世帯への給付金に県として上乗せ給付する等、支援を強化します。
 ● ひろく親世帯への支援策の強化など、子どもへの貧困対策に取り組みます。
 ● 子ども医療費助成制度の対象年齢の引き上げ、所得制限の緩和を行います。
 ● 不登校全国ワースト返上のためにも、教職員の数を増やして、少人数学級を実現します。
 ● 私学助成の拡充、給付型の奨学金制度の創設などで、学び意欲を支援します。
 ● 結婚・出産・子育て、介護など、ライフステージに応じた切れ目のない支援策を進めます。

長 純一
プロフィール
1966年東京生まれ。中村哲氏に憧れ、医師の道へ。信州大学医学部卒業後、JA佐久総合病院で、地域医療に従事。派遣先の川上村は「在宅医療日本一」で国のモデルに。東日本大震災の医療救護で石巻へ。「この街の命を救う」と決意し、2012年仮設住宅内の石巻市立病院開成仮診療所に就任。2013年から東北大学医学部臨床教授、市健康部包括ケアセンター長を兼務し、復興庁、内閣府のモデル事業を担当。2021年退職。NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」など出演多数。趣味は囲碁(6段)、カラオケ(北国の春)。



- このほかの重点政策**
5. 農林水産業の多面的価値を認め育成
 6. 被災者に寄り添う生活再建支援
 7. 原発再稼働反対、エネルギー政策転換
 8. 「水道民営化」導入を撤回
 9. 対話を大切に、県民参加と協働

- 長 純一候補を推薦します ●
- 鹿野文永(元鹿島台町長)／菅間 進(宮城県議会議員)／岸田清実(宮城県議会議員)／後藤東陽(写真家)／坂下 賢(宮城県議会議員)／佐久間敬子(命の水を守る市民ネットワークみやぎ共同代表・弁護士)／佐々木公明(東北大学名誉教授)／島田福男(仙台市在住)／藤原弘典(女川原発の再稼働を許さないみやぎアクション世話人)／芳賀唯史(元みやぎ生協理事長)／布田秀治(教師)／前野久美子(book café火星の庭)／三浦一敏(宮城県議会議員)／宮田光雄(東北大学名誉教授)／山崎信哉(元石巻仮設住宅自治連会長)

宮城県知事候補者選挙公報

宮城県選挙管理委員会

これからの
未来を決める
その一票

(富谷市 花見 優果さん)



10月31日(日)は、 宮城県知事選挙の投票日です。

◎投票日当日、投票ができないときは、きじつぜん期日前投票または不在者投票をしましょう。(10月30日(土)まで)

◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

◎有権者の皆様へのお願い

- ・マスク着用や咳エチケット、周囲の方との距離の確保、来場前・帰宅後の手洗い等をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

◎新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養されている有権者は特例郵便等投票が利用できます。

投票用紙の請求期限 10月27日(水)午後5時まで

投票用紙の請求先 市区町村選挙管理委員会

特例郵便等投票の対象者

宮城県知事選挙の有権者で、投票用紙の請求の時点で、以下の外出自粛期間や隔離等措置期間が10月15日(金)から10月31日(日)までの期間にかかる見込まれる方

- ・感染症法又は検疫法の規定により外出自粛要請を受けた方(ただし、濃厚接触者は対象外)
- ・検疫法の規定により隔離又は停留の措置を受けて宿泊施設に収容されている方

宮城県知事選挙については、
宮城県選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

宮城県選挙管理委員会

検索